

# 特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

## 目的

### ①各自治体における課題

移行期における引継ぎ率は、年々割合としては上がってきているが、まだ十分ではなく、学校段階が上がるごとに低くなっている。令和2年度に作成した「移行期における学校間連携の充実のために」のハンドブック等を活用した学校間連携の重要性についての周知と同時に、各特別支援学校の巡回相談員が巡回相談時に学校間連携に関して助言する際の共通助言内容をまとめ、共通ツールにより県内全ての地域で統一した助言ができる仕組みを整理していく必要がある。

### ②課題を踏まえ設定した目的

特別支援学校のセンター的機能を活用し、中学校等から高等学校等への移行期における個別的教育支援計画等を活用した確実な引継ぎが行われる仕組みを構築する。



## 成果

### ①得られた成果

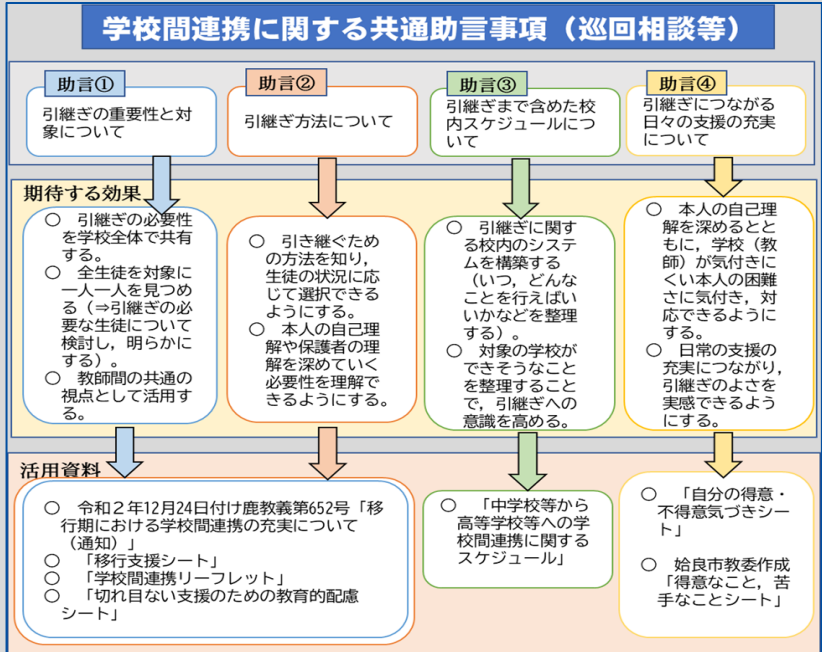
- 特別支援学校の特別支援教育コーディネーターが学校訪問を実施し、学校間連携に関する情報収集及び助言が充実した。
- 学校間連携システム構築のための連携協議会において共有した現状及び課題、中学校等から高等学校への学校間連携の充実を図るための各特別支援学校の取組を踏まえ、令和4年度の協議会で検討した共通助言内容及び共有ツール、試行的に作成した中学校等から高等学校等への移行期における引継ぎの年間スケジュールについて作成した。

### ②成果を踏まえた今後の取組

年間スケジュールに沿って取り組む中で、共通助言内容及び共通ツールの修正を行いながら、学校間連携に関する仕組みを見直しを行う。

## 事業内容

### ①学校間連携に関する共通助言事項・共通ツールの設定



全ての特別支援学校の巡回相談員が、担当する中学校や高等学校を訪問し、各学校の課題に合わせて、共通助言事項の中から必要な内容について確実に助言する仕組みへ。

### ②学校間連携に関するシステムの構築

- 県教育委員会や市町村教育委員会などの行政が果たすべき役割、中学校と高等学校などの引き継ぐ側と引き継がれる側の役割を整理。
- 引き継ぐ側と引き継がれる側をつなぐ役割として、特別支援学校のできることを整理。
- 年間スケジュールの形で、役割を示し、学校間連携が充実するための流れを整理（システムの構築）。
- 年間スケジュールに沿って、行政と特別支援学校が役割を果たしていくことで、学校間連携の意識を高め、充実を図る。

### ③「移行支援シートを活用した引継ぎ状況

| 引継ぎを受けた学校数 | R1    | R2    | R3    | R4    |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 小学校        | 60.4% | 68.3% | 71.4% | 69.4% |
| 中学校        | 78.7% | 82.2% | 87.4% | 86.0% |
| 高等学校       | 50.0% | 58.8% | 66.2% | 76.5% |